WEEKLY ロータリーを楽しもう！ 週報 No. 2041

イマジン ロータリー

鹿児島中央ロータリークラブ

KAGOSHIMA CHUO JAPAN

1977年1月10日創立

令和４年11月28日　第2068回例会

2022～2023年度 国際ロータリー会長　ジェニファー・ジョーンズ

●会　長　田中　和俊　●副会長　高岡　和也　●幹　事　松元　まや　●編　集　広報・雑誌・IT委員会（公共イメージ）

四つのテスト　言行はこれに照らしてから ❶ 真実かどうか ❷ みんなに公平か ❸ 好意と友情を深めるか ❹ みんなのためになるかどうか

本日のプログラム　ゲスト卓話「ANA のコロナとの闘いと地方創生」
全日本空輸㈱鹿児島支店長　藤﨑　美保 様

11月　R 財団月間

前回例会出席率 64.71%

会長の時間

田中　和俊

イマジンロータリー！。今月はロータリー財団月間です。ロータリーでも、財団というとよくわからないとよく言われます。簡単に言うと、寄付と補助金から成り立っている活動です。1917 年、当時の第６代ＲＩ会長アーチ・クランフが「世界でよいことをする」ための基金をつくるというビジョンを発表し、26 ドル 50 セントの寄付でスタートした財団は、その後、1947 年にポールハリスが亡くなった時に、世界中から国際ロータリーに寄付がなされました。それを契機に財団はポールハリスに敬意を表したいロータリアンに対して、財団寄付をお願いしました。その後、世界有数の財団に成長し、何百万という人のために人道的支援を行ってきました。

寄付はうちのクラブでいうと、財団委員長が入会順にお願いしているポール・ハリス・フェローと、会長の時にするベネファクターという流れでさせていただいております。先日、橋元さんと丸山さんに寄付への表彰がきましたので、例会の席で私からお渡ししました。

活動については、まずポリオ･プラスです。1988 年から、ロータリーとパートナー団体は、約 30 億人の子どもにポリオの予防接種を行ってきました。2021 年 6 月現在、ロータリーは世界的ポリオ根絶活動に対し 22 億ドル以上を投入し、ポリオのない世界を実現するために、野生型ポリオウイルスが残る最後の 2 カ国での根絶活動を継続しています。2020-21 年度、ポリオプラス･パートナー補助金を含むプログラム補助金の総額は 1 億 5,290 万ドルでした。

次にグローバル補助金です。グローバル補助金は、ロータリーの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動に資金を提供します。活動には、人道的プロジェクト、奨学金、職業研修チームが含まれます。2020-21 年度、財団は 2,066 件のグローバル補助金を承認し、プログラム授与額は 合計 1 億 3,000 万ドルに上りました。

そして地区補助金があります。地区補助金はさまざまな奉仕プロジェクトに柔軟に活用できます。例えば、①人道的プロジェクト（奉仕活動を行うための現地への渡航や災害復興活動など）②奨学金（教育機関のレベルや場所、支給期間、専攻分野の制約なし）③青少年プログラム（ロータリー青少年交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム [RYLA]、ローターアクト、インターアクト）④専門職業をもつ人びとから成る職業研修チームの派遣（現地の人びとに職業研修を行うチーム、または現地で職業スキルを学ぶチーム）。地区補助金は、ロータリー財団の使命に関連した小規模で短期的なプロジェクトを支えます。2020- 21 年度、財団は 467 件の地区補助金を承認し、プログラム授与額は合計 3,110 万ドルに上りました。災害救援補助金 ロータリー災害救助補助金は、過去 6 カ月間に自然災害により被災した地域での救援および復興活動を支援します。2020-21 年度、財団は 55 件の災害救援補助金を承認し、プログラム授与額は合計 310 万ドルとなりました。

それからロータリー平和センターの活動です。ロータリー財団は毎年、ロータリー平和センターで学ぶ平和フェローの研修を支えています。平和フェローは平和センターで修士号または専門能力開発修了証の取得を目指します。2002-03 年度以 来、115 カ国以上から 1,487 人のフェローがこのプログラムに参加してきました。2020-21 年度、63 カ国から 117 人のフェローがロータリー平和センターで留学を開始し、フェローとセンターへの授与額は合計 440 万ドルとなりました。

大規模プログラム補助金というのもあります。大規模プログラム補助金は、ロータリー会員が経験豊富なパートナー団体と協力し、大勢の人に恩恵をもたらす大規模

例会場 山形屋７Ｆ社交室　例会日 毎週月曜日　事務局 〒892-0828 鹿児島市金生町3-13-5F TEL.099(223)9366・FAX.099(239)3504　メール kchuorc@bi.wakwak.com　ホームページ http://kagoshimachuo-rc.jp/

スマイル・ボックス

●田中　和俊君・松元　まや君／本日のゲスト鹿児島東ロータリークラブ会長中川大作様、お忙しい中、卓話をお引き受けくださりありがとうございます。どうぞよろしくお願い致します。とても楽しみです。

●本坊　修君／先々週久し振りに岡部会員にお会い出来ました。暫くお会いしなかったので退会したのかと心配していました。良かったです。

●橋元　隆君／先日、我、中央RCが2021年度～2022年度のロータリー賞を頂きました。これも幹事をはじめ、皆様の協力のおかげだと思っております。感謝してスマイル致します。ありがとうございました。

●宇都　和治君／地区大会の席上ガバナー補佐の一年間のお役目に対し表彰を受けました。会員の皆様のおかげです。感謝申し上げます。記念ゴルフ大会においても２年連続入賞しましたので賞金総額全てスマイルさせていただきます。

●福留　幸一郎君／親睦委員会から、スマイル経由でお知らせです。12 月３日、忘年家族会のご出席と景品のご提供よろしくお願い申し上げます！ベストドレッサー賞もあります！皆さん、ぜひドレスアップして盛り上げましょう！

11月21日のスマイル　小計 16,000円　2022～2023年度　累計 337,001円

第2067回例会記録 11月21日(月)

ロータリーソング：「我等の生業」
職業宣言唱和：５・６
ゲスト紹介：卓話ゲスト＝鹿児島東 RC 会長　中川　大作様
食事：「百万ドル食事」･「本日の演奏」
会長挨拶：会長　田中　和俊君
会務報告：幹事　松元　まや君
１）本日の配布　①週報
②ガバナー公式訪問写真（出席者のみ）
③鹿児島サザンウインド RC より
WAQWAQ SQUARE チラシ２部
２）ラウンドテーブルのご案内
11/28（月）　18：30～　於：ごはんのじかん inatome
担当：R 財団・米山小学委員会
出欠回答を 11/22(火）までに事務局へ FAX にてお願いいたします。
３）メルボルン国際大会日本人親善朝食会開催ご案内
日時：2023 年 5 月 28 日
場所：オーストラリア　メルボルン市内
定員：先着 500 名様
申込締切：2023 年 3 月 31 日
参加希望の方は、クラブ事務局へお申し込みください。
（案内掲示）
４）RCC 例会　11：00～　場所：リンクビル９階
11/27（日）指名出席者→前迫・鈴木　各会員
５）次週　11/28(月）
・例会プログラム
ゲスト卓話　全日本空輸（株）鹿児島支店　支店長
藤﨑　美保　様
「ANA のコロナとの闘いと地方創生」
・定例理事会開催　例会終了後　社交室にて
出席報告：出席委員会
スマイルボックス：親睦委員会
ロータリー財団フォーラム
ゲスト卓話「鹿児島東 RC のポリオプラスへの取り組み」
鹿児島東 RC 会長　中川　大作様
PR タイム：かごしま子ども芸術センター

次回例会　令和４年 12 月５日（月）
職業奉仕フォーラム

出席率	会員数	出席数	出席報告
第2067回例会	54名	33名	64.71%
前々回（11月7日）の補正	54名	43名	84.31%

本日の曲目：イマジン、まっかな秋、レット・イット・ビー　　**演奏**：入来慶子

で効果の高い３～５年間のプロジェクトを実施することを可能とします。2020-21 年度の補助金 200 万ドルは、会員主導による「マラリアのないザンビアのためのパートナー」プログラムに授与され、パートナー団体からこれに 400 万ドルが上乗せされました。

難しいことは覚えなくてもいいと思いますが、ロータリアンとして寄付をすること、そしてそれが世界中の方々のお役に立っていることを知っておいてください。そしてロータリー財団委員長から声がかかれば気持ちよく寄付していただければと思います。私も毎日、円高になることを祈りながら寄付するその日を待ちたいと思います。

ロータリー財団フォーラム

会長　**田中　和俊**

今回はＲＩが取り組んでいるポリオ・プラスについてお話します。ポリオは一般に小児麻痺と呼ばれ、医学的な正式名称は急性灰白髄炎です。３歳以下の子供に多い病気で、ポリオウイルスが口から入って感染します。発熱後に意識障害を起こし、その後手や足が麻痺するのが特徴です。日本でも今から５０年以上前は多かったようなのですが、ポリオの生ワクチンが投与された１９６１年（昭和３６年）を境に激減したそうです。

１９７８年国際ロータリーの理事会は３―Ｈプログラムを設立しました。３―Ｈとは、Health（健康、保健）、Hungry（飢餓）、Humanity（人権）です。その後、ロータリー財団に引き継がれた３―Ｈプログラムの一環として、ポリオ予防事業が提案されたそうです。生後３か月から３年の小児約６００万人を対象に５年間ワクチン投与を行うプロジェクトでした。５年を待たずしてその予防効果が明らかになり、国際ロータリーとしても目に見える成果としてなおのこと熱心になったようです。１９８２年の国際ロータリーの理事会で、「２００５年のロータリー１００周年までにポリオを世界から撲滅する」と決定しました。１９８５年、国際ロータリーは創立８０周年にあたり、ポリオ・プラス・プログラムを発表しました。このときに初めて「プラス」という用語が使われました。プラスとは麻疹（はしか）、ジフテリア、破傷風、百日ぜき、結核の予防にポリオを加えるという意味です。その後の活躍は目覚ましく、１９９４年には北米・中米・南米の撲滅、２０００年には日本を含む西太平洋地域の撲滅、２００２年にはヨーロッパ地域の撲滅ができました。現在ではポリオの９９．９％は根絶したといわれ、現在残る地域はパキスタン、アフガニスタンとなりました。２００７年にはビル・ゲイツ財団の支援が加わり、この支援は２０１２年６月３０日まで続いたそうです。

以下、マイロータリーより

「ロータリーは、過去 35 年以上にわたりポリオ根絶活動を行ってきました。ポリオを世界からなくすという私たちの目標は今、達成まで本当にあと少しのところにきています。世界ポリオ根絶推進活動（ＧＰＥＩ）の立ち上げ当初からのパートナーとして、ロータリーは、1979 年にフィリピンの子どもたちに予防接種を実施したときから始まったこのプログラムを通じ、ポリオの症例を 99.9％まで減少させることに貢献してきました。ロータリー会員はこれまでに 21 億ドル以上と無数のボランティア時間をこの活動に捧げ、122 カ国の 30 億人近い子どもを、身体まひを引き起こすポリオから守ってきました。ロータリーのアドボカシー活動は、この取り組みへの各国政府による 10 億ドル以上の寄付を確保する上で重要な役割を果たしました。今日、ポリオがまだ存在する国（常在国）はアフガニスタンとパキスタンのみとなっていますが、その他の国々でもポリオのない状態を維持していく必要があります。ポリオ根絶活動を今やめてしまうと、10 年間のうちに、毎年ポリオによって身体まひとなる子どもが 20 万人になると予測されています。」

ポリオ・プラスは単に世界のポリオを９９．９％撲滅させただけではなく、そのノウハウが蓄積されたそうです。このノウハウをコロナにも活かせるような取り組みがなされることを切に願います。

ポリオプラスについて

鹿児島東 RC　**中川　大作**

「ポリオ (小児マヒ) を西暦 2000 年までに地球上から追放する目的のロータリー財団の事業として始まった。 プラスとは、ポリオのほかハシカ、ジフテリア、結核、破傷風、百日咳の五つの主要伝染病をプラスして同時追放を目的としているという意味。 この事業はＷＨＯやユニセフと提携して推進中。ただし 2022 年現在もアフガニスタン、パキスタンの２か国にポリオは存在。ワクチン接種や監視・観察のためには多額の費用が必要。」

10 月 24 日は「世界ポリオデー」です。例年、世界中のロータリークラブが、この日にちなんだ様々な活動を実施しております。私たち鹿児島東ロータリークラブでは、今年は 10 月 22 日（土）に、「マリンポートかごしま」にて、【ポリオ根絶チャリティ　ウォーキング＆ランニング大会】を開催しました。参加者の皆様が、運動場をそれぞれ１㎞１周しますと鹿児島東ロータリークラブよりポリオ根絶のために、１周につき千円をロータリー財団の方へ寄付する仕組みです。結果、参加者 51 名で 139 周、募金も併せて 180,311 円をポリオの方へ寄付しました。

ポリオ根絶という活動をロータリーがやっているということを、一般の方々に知っていただくために、【ポリオ根絶チャリティ　ウォーキング＆ランニング大会】の告知をリビング新聞等にて告知をしました。また、当日は会員全員お揃いのポリオの赤いＴシャツを着て参加しました。その他ＳＮＳで情報を発信したりしています。私たちのクラブでは、これまで毎年ポリオプラスのために、チャリティーイベントとして様々な取り組みをしております。

例えば、 ゴスペルコンサート、ジャズコンサート、映画上映会『ブレスしあわせの呼吸』、ウォーキング・ランニグ大会　ｅｔｃ

これらのイベント開催により集められた寄付金をポリオプラスに送っており、地区大会においてポリオプラス寄付優秀クラブとして表彰を受けています。今年も、一人当たり寄付金額では第一位表彰をいただきました。

さて、せっかく田中会長から卓話の時間をいただきましたので、なぜ今年度は【ウォーキング・ランニグ大会】を開催したかについて、今年度の鹿児島東ＲＣのクラブスローガン『ウェルビーイング・ロータリー』と併せてお話させていただきたいと思います。

ウェルビーイングとは身体的・精神的・社会的に良好な状態のことをいいます。わかりやすく言いますと「ご機嫌な状態」ということです。つまり、今年の鹿児島東ＲＣはご機嫌なクラブで行きましょうということです。このウェルビーイングの考え方は、本年度山ノ内ガバナーが掲げていらっしゃる「知力を高め　未来に繋げ多様性のロータリークラブの実現に」というスローガンに相通じるものでありまです。ウェルビーイングな状態というのは、ガバナーがおっしゃるダイバーシティ（多様性）、エクイティ（公平）、インクルージョンの概念を包括する状態であるからです。

先日、全国 8000 人以上が参加したオンラインでの「全国ウェルビーイング・リーダース・サミット」に参加して参りましたが、ここでは様々なセッションがあり、これからは日本もウェルビーイング時代への価値転換が求められているとのことでした。「私たちはいかに生き、いかに働くべきか」というテーマの中では、経済成長から心の成長へと進んでいくものと考えられるそうです。これからは健康・幸福（幸せ）・福祉といった観点から、多様性を認めたウェルビーイングな世界が求められているようです。ロータリークラブは、そもそも年齢も職業も性別も違う人々が集まって、地域社会や世界に奉仕する団体であります。多様性を認めたロータリーだからこそウェルビーイングな世界を実現できると思っています。

少し長くウェルビーイングについて長くお話ししましたが、このスローガンを今年のテーマに抱えておりますので、身体的にも精神的にも健全な【ウォーキング・ランニグ大会】を開催して、ご機嫌な状態でポリオプラスへの寄付をやろうと考えた次第です。おかげさまで、先ほども述べましたように結果として、天気も快晴でみんなでマリンポートを 139 周 139 キロメートル回り、180,311 円をポリオプラスに寄付することができました。

田中会長にも当日参加していただき 4 周も回っていただきました、本当にありがとうございました。

アイディア次第で、ポリオプラス寄付活動も楽しく取り組みできるものとして、私たち鹿児島東ＲＣは活動しております。今後も積極的に何らかのイベントを開催しながらウェルビーイングなロータリー活動をやっていきたいと考えています。親クラブである鹿児島中央ロータリークラブの皆様には、今後ともいろいろとお世話になることも多いと思いますが、ロータリーの友情をもってご指導の程よろしくお願い申し上げます。

本日は、このような機会をいただき本当にありがとうございました。